

## 質問 空いている島リハ学生用宿舎の有効利用で高校魅力化を

町長 町の将来的課題として検討したい



景山 利則 議員

**質問** 横田高校の生徒数減は地元にとって大きな不安である。厳しい現状打破のため、入学者数の拡大と活性化を強力で進めて行くことが必要である。そこで、町内は20万円、町外は25万円、県外は30万円の入学補助金を支給する思い切った手を打つ、思い切った投資をすることが必要ではないかと考えるが。

町長 多額な補助金提案をいただいたが、入学補助金はさらなる町負担となる。限られた財源の中で教育内容の充実などを通じた魅力ある学校づくりと比べ優先順位は低く提案いただいたことは非常に難しいと判断している。

**質問** 島根リハビリテーション学院生徒のために用意された宿舎がたくさん空いている。この宿舎の建築費に係る償還金は入居がない場合は町が立て替え償還しているが、立て替えだけではもったいない。町外・県外から横田高校に入学を希

望し、宿舎を必要とする生徒に、空いている宿舎を無償に近い家賃で提供できたら、宿舎の利用価値も上がり高校の魅力化にもつながると考えるが。

町長 県外から入学を希望される生徒の保護者の条件は、学

校に寮があること、三食付であること、そして一番大きな問題は、生徒指導がきちんとできるかである。現在、県による寮の増築はこれ以上望めない状況にあるので、町の将来的課題として検討したい。

**質問** 島根県では奨学金の貸与を受けている高校生・大学生等が、島根県内の事業所に就業し実務経験を通じて国家資格等の取得を目指す場合、奨学金の返還額の全部又は一部を助成する制度を設けているが、これに町が上乗せ助成する制度を設ければ大きな魅力となり、若者定住にもつながると考えるが。



思い切った投資で入学者数の拡大と活性化が望まれる横田高校

町長 建設業など一部の業種に対しては有効であると考えますが、資格を必要としない製造業を中心とした多くの町内企業の求人ニーズに応えることも必要である。今後、島根県、県内自治体の動向を見ながら、町内企業の意見を聞き、調査研究していく。